

平成30年2月定例会 特別委員会の記録

交流人口拡大・過疎地域等振興対策特別委員会

委員会は、付議事件1「交流人口拡大・過疎地域等振興対策について」の概要について、執行部から説明を受けるとともに、審議を行った。

付議事件
1 交流人口拡大・過疎地域等振興対策について
2 上記1に関連する事項
調査事項及び調査内容
1 <u>交流人口拡大・過疎地域等振興対策について</u>
(1) <u>交流人口の拡大について</u>
① <u>観光の振興</u>
② <u>新しい人の流れやしごとづくり</u>
(2) <u>過疎地域等の振興について</u>
① <u>地域資源を活用した過疎地域等の活性化</u>

委員長名	高野光二
委員会開催日	平成30年3月15日(木)
所属委員	〔副委員長〕 佐藤義憲 渡部優生 〔理事〕 阿部裕美子 今井久敏 〔委員〕 星公正 山田平四郎 斎藤勝利 宗方保 佐藤憲保 瓜生信一郎



高野光二委員長

(3月15日(木))

阿部裕美子委員

台湾人観光客が福島の食べ物は大丈夫とスマートフォンで発信する姿がテレビで紹介されていたが、非常に大きな効果があると思う。積極的に交流人口を拡大することは非常に大切であるが、具体的にはどのぐらい外国人観光客がふえているのか。

観光交流課長

外国人観光客については、震災後に福島空港の韓国と中国の定期路線が運休になり、延べ宿泊者数は3割ほどに減少したが、平成29年は震災前を初めて超え、9万4,000人の宿泊者数となった。これは県が目標に掲げる9万人泊を超えており、実績をさらに積み重ねていきたい。

阿部裕美子委員

3分野の説明があったが、本県の過疎が非常に進んでいる状況等に対して、商工労働分野がどのような取り組みをして促進を図るのかよく見えない。本県が抱える問題点を鮮明にできる現状をデータ化した資料の提出を要望する。

高野光二委員長

ただいまの阿部委員の意見をしんしゃくし、次回委員会には執行部より意見に沿う資料提出があればなお結構である。
なお、2回の委員会開催後に県内外調査もあるので、その際にも詳細な調査をしたい。